

平成 16 年 7 月 22 日
日本水フォーラム準備室

国連事務総長のための 水と衛生に関する諮問委員会 第一回会合の開催について

世界の賢人たちが水を語る、水を変える、世界を変える

今年 3 月 22 日の世界水の日に、国連のアナン事務総長より設立が発表された「水と衛生に関する諮問委員会」の第一回会合が 7 月 22、23 日の日程でニューヨークにおいて開催されます。

国連事務総長から小泉首相を通じて 橋本龍太郎元総理(元第 3 回世界水フォーラム運営委員会会長)に「水と衛生に関する諮問委員会」の議長への就任依頼があったのは、今年 2 月のことです。本委員会は、アナン事務総長に対する諮問組織として設立されるものであり、橋本元総理を議長に、世界中のさまざまな分野から、閣僚経験者や国際機関の長を務めた有識者や NGO の代表など約 20 名がメンバーとして参加します。(メンバー表は別添資料をご参照ください。)

第一回会合では、本委員会が果たすべき役割、「水供給と衛生」、「統合水資源管理」、「資金調達」、「水と災害」など取り組むべき課題とそれぞれに対する具体的な取り組み方法、今後の行動計画案等が議論される予定になっており、アナン事務総長のご出席も予定されています。

国連のミレニアム開発目標 が発表されてから 4 年が経過しました。水に直接関係する目標としては、「目標 10」として、安全な飲み水が得られない人の割合を半減することが掲げられています。現在、世界には安全な飲み水を得ることができない人が約 11 億人いると言われており、アナン事務総長によれば、「目標 10」を達成するためには、毎日 27 万人のペースで水道の供給を開始する必要があるということです。

「目標 10」の重要性は、その達成が他の目標の達成にも影響することにあります。たとえば、乳幼児死亡率などの問題の解決のためにも水への基本的なアクセスが改善することが果たす役割が大きく、ひいては、貧困問題の解決にも貢献すると言われていています。また、更に増大すること予測される人口問題と切り離して考えられないのは、飢餓の問題ですが、水の効率的な利用によって食糧問題の解決が可能となります。

水は多様な姿 を持ち、また多様な側面を持っています。日本では薬品のにおいがせず、また有害である可能性のあるほんの少しの何かが入っていれば「安全ではない」水です。一方で、途上国の一部では「安全な水」とはそれを飲んで病気になる、死んだりしたりすることのない水。またそれを手に入れるために危険を冒す必要のない水です。水はそれを表現する言葉ひとつとっても、まったく違う概念を持っています。これら、世界の人々の間にある、世界の人々をとりまく状況の間にあるギャップを埋めるために、設立された新たな諮問委員会。今回はどのような議論が行われ、その結果どのような具体的方策が打ち出されるのでしょうか。

在ニューヨーク特派員による取材、あるいは事後の個別取材などを希望される場合は、日本水フォーラム準備室までご連絡ください。なお、会合終了後は、開催結果の報告も送付させていただきます。(記者会見・懇談会におきましては諮問委員会の内容以外の質問はご遠慮下さい。質問内容によっては会見・懇談会を打ち切らせていただく場合がございますのでご了承下さい。)

国連事務総長のための国連水と衛生に関する諮問委員会 <メンバーリスト>

平成 16 年 7 月現在：19 名

橋本龍太郎元総理（議長）	
マフムード・アブ・ザイド	エジプト水資源灌漑大臣
ディビッド・ボーイズ	国際公務労連（PSI）公共事業担当役員
ミシェル・カムドゥシュ	アフリカに関する仏首脳個人代表
フアニタ・カスターニョ	前コロンビア外務次官
オリビア・ラ・オ・カスティージョ	フィリピン公害予防円卓会議議長 （アジア太平洋低公害物製造円卓会議議長）
マーガレット・キャトレイ・カールソン	世界水パートナーシップ総裁
アントニオ・ダ・コスタ・ミランダ・ネット	ブラジル上下水道サービス協会国際担当部長
ジョセリン・ダウ	元女性環境開発機構総裁
ウッシー・アイト	ドイツ連邦経済協力開発省政務次官
アンヘル・グリア	前メキシコ大蔵大臣・元メキシコ外務大臣
ロニー・カスリルズ	南アフリカ情報大臣
ポール・ニールソン	欧州連合開発・人道援助担当委員
エリック・オダダ	ナイロビ大学地質学部長
ジェラルド・ペイヤン	前スエズ社上級副会長
ジュディス・リース	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス副学長
クリスティン・トッド・ホイットマン	前米環境保護庁長官
ヨルドン・ウズノフ	元ブルガリア環境副大臣
ピーター・ヴォイケ	国際金融公社長官

尚、現地における邦人プレスとの記者会見・懇談会は「現地時間」23日午後15:30～16:00に国連代表部大臣応接室にて予定しております。ご質問等ございましたら下記までご連絡頂けますよう宜しくお願い致します。

記者会見・懇談会におきましては諮問委員会の内容以外の質問はご遠慮下さい。質問内容によっては会見・懇談会を打ち切らせていただく場合がございますのでご了承下さい。

<お問い合わせ先>

日本水フォーラム準備室 担当/山口、横田

電話 090-5322-7754（山口） / 090-7639-2575（横田）